

Invented for life



BOSCH

Driven by SOLUTIONS

ボッシュの新しい車両診断ソリューション
KTS 560 / KTS 590



すべてのコントロールユニット診断のために

ボッシュの新しいコントロールユニット診断モジュール KTS 560/590は、イーサネットを含む将来の車両インターフェースもサポートしています。

プロフェッショナルとして確実な修理作業やメンテナンスを提供し、顧客満足度を最高水準に保つために必要な高精度の診断を実現します。

ボッシュの最先端の診断テクノロジーを取り入れることで、貴社のサービス内容を容易に拡張することができます。また、数々のメリットにより、日常のワークショップ業務をシンプルにすることができます。さらに、複雑なシステム診断や修理では、ボッシュが提供するホットラインやトレーニングによるサポートを受けることができます。

プロフェッショナル ワークショップのためのソリューション

▶ **ESI[tronic]2.0:** 総合的な車両メンテナンスと修理のための診断ソフトウェア

▶ **KTS 560:** 1チャンネルマルチメーター搭載のワイヤレス診断モジュール

▶ **KTS 590:** トップクラスのオシロスコープ付き2チャンネルマルチメーター搭載のワイヤレス診断モジュール

DoIP とイーサネット：未来のコミュニケーション

多くの自動車メーカーが、ますますイーサネットベースの新しい診断インターフェースを使用するようになってきています。これは、DoIP (Diagnostics over Internet Protocol) (インターネットプロトコルによる診断) とも呼ばれています。DoIP のメリットは、従来のコントロールユニットへのデータ転送技術と比較して、最大 100 倍の転送速度があることです。おそらく、近い将来にはより多くの自動車メーカーが一般車両の診断にイーサネットを使用するようになるでしょう。この技術発展に備え、ボッシュ KTS シリーズの新型診断テスターは、従来のインターフェースと同時にイーサネットもサポートしています。つまり、このインテリジェントソリューションを導入することにより、今日から未来のニーズに応える準備が出来るのです。



ESI[tronic]2.0 : 多機能性

今日のワークショップソフトウェアは、対象が乗用車または商用車であっても、コントロールユニット診断を行う以上の機能を期待されています。インテリジェントトラブルシューティング、素早い修理のためのサポート、メンテナンス、これらは診断セグメントの新しいスタンダードになっています。これらすべての要求を満たすのがESI[tronic]2.0です。

ボッシュが提供する効率的なコントロールユニット診断は、トラブルシューティングを手順良くガイドし、メンテナンスやサービスに必要なすべての車両情報を瞬時に提供します。

ESI[tronic]2.0にはすべての標準的な車両の最新データが保存されており、オンラインで定期的にアップデートすることで常に最新状態を保つことができます。

統合型ソリューション、EBR - Experience Based Repair (既知の故障) により、既知の故障事例とその効果的な修理方法を素早く検索することができます。迅速かつ、高精度の修理作業を提供することは、優れた結果と高い顧客満足を獲得するために重要です。



ESI[tronic]2.0 のメリット

- ▶ 最新データを用いたコントロールユニット診断
- ▶ KBA キーまたは VIN、型式番号による車両識別
- ▶ クイック作業や修理に必要な全データ
- ▶ ボッシュ ワークショップ ネットワーク コンセプト: Connected Workshop をサポート
- ▶ デバイスの使用中、バックグラウンドにて定期的にオンラインアップデートをダウンロード
- ▶ 必要手順や作業内容を常に分かりやすく提供

KTS 560 & 590:

最高水準の効率を実現する最先端のコントロールユニット診断

新型の堅牢な通信モジュール、KTS 560 および KTS 590 は、診断ソフトウェア ESI[tronic]2.0 の使用に最適です。すべての一般的な車両インターフェースと同時に、将来のイーサネットベースインターフェースにも対応しています。

車両通信に加えて、電圧、抵抗、電流の測定も素早く簡単に行うことができます。また、KTS 590 には 2 チャンネル式オシロスコープが搭載されているため、電圧や電流の表示のみならず、即座に波形を解析することができます。



KTS 560 および KTS 590 のメリット

- ▶ イーサネットを含む近年および将来の車両インターフェースに対応
- ▶ ボッシュ診断ソフトウェア ESI[tronic]2.0 がインストールされライセンス認証済みのあらゆる Windows PC で使用可能
- ▶ パワフルな Bluetooth® インターフェースによる、安定したワイヤレスオペレーション
- ▶ ワークショップ PC とのワイヤレス Bluetooth® 接続により、ワークショップのより広範囲におけるモバイル使用が可能
- ▶ ワークショップにおける長年の日常業務に適した堅牢構造

テクニカルデータ

作動電圧：8 VDC-28VDC

PC 接続：USB 2.0、Bluetooth® Class 1

対応プロトコル

ISO 15031、ISO 22900、SAE J2534-1 および -2 (パススルー)、ISO 9141-2 (K and L)、SAE J1850 VPW および PWM、CAN ISO 11898、ISO 15765-4 (OBD)、CAN Single Wire、CAN Low Speed、ISO 13400 (IP 経由診断)、その他車両別プロトコル



KTS 590

ECU 診断とオシロスコープ機能付
マルチメーター
(2チャンネル式マルチメーター、
2チャンネル式オシロスコープ)

KTS 560

ECU 診断とマルチメーター機能
(1チャンネル式マルチメーター)

測定技術の仕様

計測チャンネル	非接地型
入力抵抗	>900 k Ω

抵抗測定

測定範囲	100 Ω - 1 M Ω
解像度	0.1 Ω - 1000 Ω (測定範囲による)
入力抵抗	>9 M Ω

KTS 590 オシロスコープ

測定範囲	200 mV - 60 VDC/ 30 VAC、42 VACpeak
カップリング	DC、AC、DC(+)、DC(-)
シグナルソース	CH1/CH2: U、100 A、600 A; 診断ピン1~15 (4、5を除く)
X 偏差	25 μ s - 1s
トリガーモード	マニュアル、オート-タイム、オート-レベル
周波数範囲	最大 5 MHz
サンプリングレート	20 MS/s (MS = メガサンプル)

電圧測定

測定範囲	200 mV - 60 VDC/30 VAC
精度	測定値: \pm 0.75 % 測定範囲: \pm 0.25 %
AC周波数範囲	10 Hz - 100 kHz (-3 dB)

セット内容

KTS 560: 0 684 400 560
KTS 590: 0 684 400 590

OBD接続ケーブル(1.5m)
電源ユニット
テストプローブセット
USB接続ケーブル(3m)
トリガー取付用ブラケット
Bluetooth® USB アダプター
ケース

What drives you, drives us

ボッシュのテクノロジーは、グローバル規模でほぼすべての自動車に採用されています。ボッシュでは、人に役立つ革新テクノロジーを生み出し、人々に完全なモビリティソリューションを提供することに注力しています。

そのため、ボッシュは創業以来130年以上に渡り、パイオニア精神と研究開発における専門技術をこの目標を達成するために捧げてきました。

ボッシュは、補修パーツ、診断機器、ワークショップ機器およびサービス分野のソリューションの独創的な統合に継続的に取り組んでいきます。

- ▶ 効率的な車両修理を可能にするソリューション
- ▶ 革新的なワークショップ機器およびソフトウェア
- ▶ 世界トップの広範で最新の交換部品のラインナップ
- ▶ 迅速で信頼性のある部品供給が可能な、大型サプライヤーネットワーク
- ▶ 高品質なホットライン支援
- ▶ 総合的な教育およびトレーニングの提供
- ▶ ターゲットを絞った販売およびマーケティングのサポート

Find out more at:
<http://www.bosch.co.jp/>

ボッシュ 株式会社

オートモーティブアフターマーケット事業部

〒150-8360

東京都渋谷区渋谷3-6-7

TEL : 03-5485-6060 (代)